「2022 年中国知的財産権発展状況評価報告」の概要紹介

2023 年 1 月 6 日
JETRO 香港事務所

2022 年 12 月 28 日、国家知識産権局（CNIPA）から、「**2022 年中国知的財産権発展状況評価報告**」（2022 年中国知识产权发展状况评价报告[1]）（全 109 頁）が公表された。

本評価報告は、2012 年から国務院知財戦略実施事業部局間連席会議（国务院知识产权战略实施工作部际联席会议）弁公室による委託を受けて、知財発展研究センターが評価研究を実施し、毎年[2]作成かつ公表されてきたものである。

本年次評価報告は、「**知的財産権強国建設綱要**」[3]（2021 年 9 月 中共中央・国務院）（以下「要綱」）発表後初の報告である。評価指標体系を更新して、地域・国際比較の測定方法を最適化したことで、知財強国建設の成果を示す、客観的で科学的な評価体系になったと紹介されている[4]。

また、本年次評価報告は、知財強国建設に向けた発展軌跡を総合的に反映するため、全国知財発展[5]、地域知財発展[6]、国際比較[7]の 3 つの次元で評価を実施した。ここで、国際・地域の知財発展の評価で使用した指標データは、主に国務院知財戦略実施事業部局間連席会議の会議関係者からの公式資料や中国統計年鑑など、権威あるデータベースから取得され、国際比較の評価に使用した指標データは、主に WIPO や世界銀行

---

1 ［原文］https://www.cnipa.gov.cn/module/download/down.jsp?i_ID=181042&colID=88
2 ただし、2021 年版は作成・公表されていないものと思われる。
2020 年版については、以下の CNIPA ウェブサイトを参照。
［原文］https://www.cnipa.gov.cn/art/2021/10/16/art_53_170807.html （2021 年 10 月 16 日発表）
3 ［原文］http://www.gov.cn/zhengce/2021-09/22/content_5638714.htm
4 綱要の実施状況や知財強国建設の成果を総合的に検証・分析・総括するためには、知財の整備状況の評価が実務的に非常に重要である、と説明されている。
5 綱要で示された 6 つの重点課題（①知財制度構築、②知財保護体系、③知財市場運営体制、④知財公共サービス体系、⑤知財人文社会環境、⑥知財グローバルガバナンス参加）を主要な評価指標としている。
6 地域知財発展の特徴を考慮して、知財保護制度、知財市場運営メカニズム、知財発展環境（制度、公共サービス、人材要素を含む）を主要な評価指標としている。
7 各国間の知財発展の環境条件や知財市場運営の有効性を評価することに重点を置き、知財発展環境、知財産出効率、知財市場評価を主要な評価指標としている。

などの国際機関のデータベースから取得されたものであり、データの信憑性と信頼性が保証されている、と説明されている。

評価の主な結論として以下の点が挙げられている。

（１）知財強国建設において目覚ましい成果を上げている。

・「綱要」の 6 つの重点課題からなる指標のスコアが全て増加

（２）地域連携開発により知財開発の相乗効果が高まっている。

・四大経済圏、主要戦略地域のいずれにおいても各地域の平均スコアは増加

・四大経済圏では、東部地域が知財発展において明らかな優位性あり

（３）中国の総合的な知財競争力は着実に向上している。

・知財発展国際比較指数において、評価対象 49 カ国のうち、中国は 8 位

・前年と同順位だが、スコアは前年から増加（知財の総合力向上が反映）

全国、地域、国際の 3 つの次元において、それぞれ良好な結果が示されており、額面通りに受け止めるのであれば、知財強国に向けて着実に歩みを進めているといえる。

なお、詳細な内容については別紙（次頁）を参照されたい。

（以上）

（別紙）

（１）知財強国建設において目覚ましい成果を上げている。

✓ 知財強国建設指数[8]は 116.3 に達し、前年の基準値 100 から 16.3 増加

	2021 年	2022 年	増加幅
知財制度構築指数	100	112.4[9]	+12.4
知財保護体系指数	100	119.3[10]	+19.3
知財市場運営体制指数	100	114.8[11]	+14.8
知財公共サービス体系指数	100	117.5[12]	+17.5
知財人文社会環境指数	100	121.3[13]	+21.3
知財グローバルガバナンス参加指数	100	114.1[14]	+14.1
知財強国建設指数	100	116.3	+16.3

8 本年次評価報告の付録 1（89 頁～）に「評価指標体系」、付録 2（96 頁～）に「指標の定義」、付録 3（108 頁～）に「指数計算方法」が記されている。

9 法制度面では、改正された専利法や著作権法の施行、データ知財保護に関するパイロットプロジェクトの開始など、管理効率の面では、中央政府直轄の全 42 税関への知財保護機関および担当者の配置、専利及び商標の審査に対するユーザー満足度指数の向上などが挙げられている。

10 司法保護の面では、知財一審民事事件の「服判息诉率」（人民法院の判決後に当事者が控訴しなかった案件数の割合）の高さ（90.5%、前年比 0.2%増）など、行政保護面では、全国の市場監督管理部門により調査・処理された知財分野の違法案件数（5 万 2 千件）の増加（前年比 28.0%増）などが挙げられている。

11 人口 1 万人当たりの高価値発明専利件数（7.5 件）の増加（前年比 1.2 件増）、知財権使用料の年間輸出入総額（37,78 億人民元）の増加（前年比 18.6%増）、知財権の質権融資登録額（3143.6 億人民元）の増加（前年比 41.6%増）などが挙げられている。

12 省レベルの知財公共サービス機関のカバー率 100%到達（前年比 9%増）、専利・商標出願の電子出願率（順に 99.1%、98.4%）の高さ（順に前年比 0.3%増、0.4%増）などが挙げられている。

13 新聞・テレビなどの伝統的メディア、記者会見などのオフラインチャンネル、ウェブサイト・WeChat などの新媒体の一体的な展開、知財分野の専門人材の育成などが挙げられている。

14 ISO や IEC の国際規格の提案・公布数（計 1,106 件）の増加（前年比 19.1%増）、外国での有効な専利件数（100.3 万件）・商標件数（191.7 万件）の増加（それぞれ前年比 5.0%増、7.7%増）などが挙げられている。

✓ 知財創造の質は大幅に向上し、中国の人口 1 万人当たりの高価値発明専利数は 7.5 件（前年比 1.2 件増）

✓ 質の高い経済発展を促進するための知財の役割はより顕著になってきており、全国専利集約型産業の付加価値は 12.13 兆人民元（2020 年値）（前年比 5.8%増）に達し、対 GDP 比は 11.97%（前年比 0.35%増）［図 1 参照］

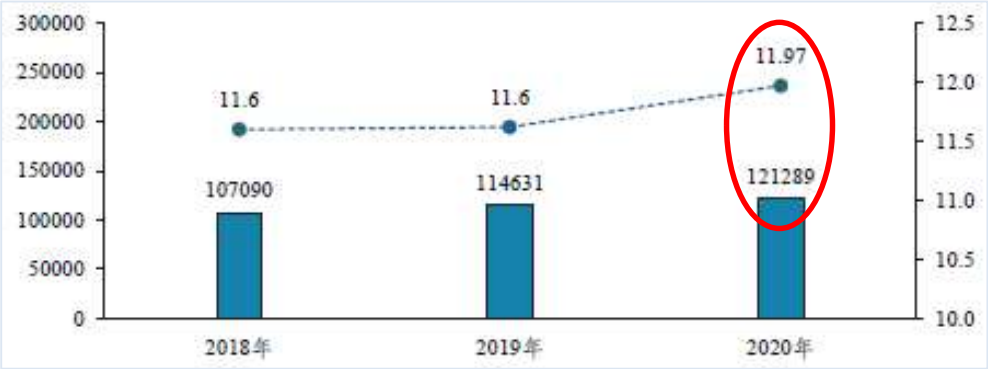


図 1　全国専利集約型産業の付加価値の推移
（棒グラフ（左軸）：専利集約型産業の付加価値（億人民元）、
折れ線グラフ（右軸）：専利集約型産業の付加価値の対 GDP 比（%））

✓ 著作権産業の付加価値は 7.51 兆人民元（2020 年値）（前年比 2.58%増）に達し、対 GDP 比は 7.39%［図 2 参照］



図 2　全国著作権産業の付加価値の推移
（棒グラフ（左軸）：著作権産業の付加価値（億人民元）、
折れ線グラフ（右軸）：著作権産業の付加価値の対 GDP 比（%））

✓ 全国の知財使用料の年間輸出入総額は 3783 億人民元（2021 年値）（前年比 18.6%増）［図 3］

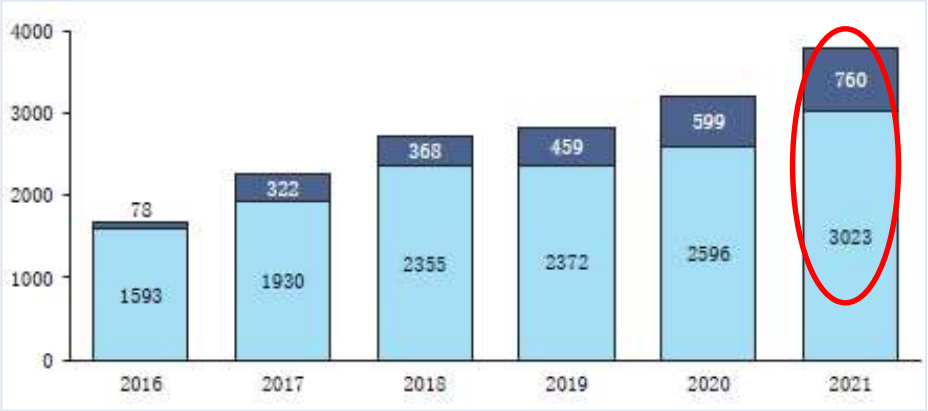


図 3　全国知財使用料の輸入額、輸出額
（下が輸入、上が輸出）

✓ 世界的な流行や国際経済社会の不確実性・複雑性により、2021 年は一部の知財の創造・運用規模の成長率が鈍化して比較的安定した発展期に入った。

（２）地域連携型開発により知財開発の相乗効果が高まっている。

- ✓ 経済的に発展した地域が、知財発展において明らかな優位性ありの傾向
- ✓ 地域の知財発展指数の上位６地域は広東・北京・江蘇・上海・浙江・山東（下表参照）

2022 年 順位	地区	2022 年 地域発展指数スコア	2021 年 地域発展参考スコア
1	広東	90.41	87.55
2	北京	89.90	88.54
3	江蘇	89.02	86.86
4	上海	88.63	85.87
5	浙江	88.40	85.55
6	山東	88.15	85.58
7	四川	85.15	82.85
8	湖北	83.63	80.35
9	天津	83.46	80.40
10	安徽	82.89	82.38
11	福建	82.42	81.72
12	重慶	81.59	79.38
13	湖南	81.57	81.52
14	河南	81.28	80.88
15	陝西	80.86	78.70
16	遼寧	80.69	78.93
17	河北	79.56	80.00
18	江西	79.11	78.85
19	貴州	78.96	74.80
20	黒龍江	78.07	78.07

21	広西	78.04	76.89
22	雲南	78.02	76.86
23	吉林	77.48	77.44
24	甘粛	77.00	76.46
25	新疆	76.50	75.63
26	山西	75.57	74.62
27	内モンゴル	74.30	73.78
28	青海	73.91	71.58
29	海南	73.62	69.43
30	寧夏	72.40	70.97
31	チベット	68.12	66.81

- ✓ 地域の知財保護制度指数、発展環境指数、市場運営指数の相関係数はいずれも 0.97 で強い正の相関あり、地域の知財保護と発展環境の構築が市場関係者のイノベーションの勢いを高める上で重要な役割を果たすことを反映
- ✓ 四大経済圏の観点から見ると、東部、中部、西部、東北部の知財発展指数の平均スコアはそれぞれ 85.36、80.68、77.10、78.75（順に前年から 2.12、0.99、1.58、1.22 増）
- ✓ 東部地域が知財発展において明らかな優位性あり（保護制度指数では平均スコアが、発展環境指数と市場運営指数では平均スコア及び増加率が、それぞれ他地域より高い）
- ✓ 主要戦略地域の観点から見ると、広東・香港・マカオ大湾区の知財発展指数の平均スコアは 90.41（前年から 2.86 増、増加幅が最大）［次頁図 4 参照］
- ✓ 長江経済圏の知財発展指数の平均スコアは 83.39（前年から 2.00 増）［次頁図 4 参照］
- ✓ 長江デルタ地域の知財発展指数の平均スコアは 87.23（前年から 2.07 増）、長江経済圏より 3.84 ポイント高く、長江経済圏の知財発展にとって重要で優位な地域［次頁図 4 参照］

- ✓ 北京・天津・河北地域の知財発展指数の平均スコアは 84.31（前年から 1.32 増）、知財の出願効率に優れた効果を発揮［図 4 参照］
- ✓ 黄河流域の知財発展指数の平均スコアは 78.77（前年から 1.50 増）、知財発展インフラが大幅に進歩［図 4 参照］

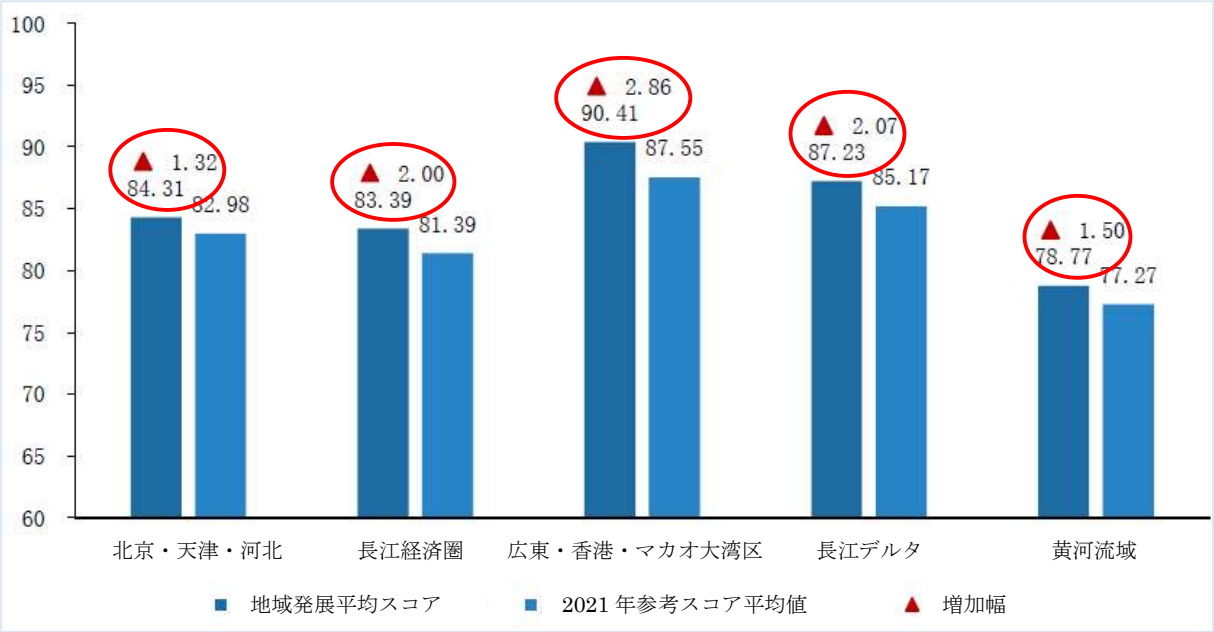


図 4　2022 年主要戦略地域における発展指数の平均スコアと増加幅

（縦軸はスコアの値）

（３）中国の総合的な知財競争力は着実に向上している。

- ✓ 評価対象 49 カ国のうち、中国は知財発展国際比較指数が 79.56 で 8 位
- ✓ 順位は前年と同じであるものの、スコアは前年から 0.67 増、中国の知財に関する総合力の向上が反映

2022 年 順位	国	2022 年 国際比較指数スコア	2021 年 国際比較参考スコア
1	米国	89.79	88.51
2	日本	86.35	85.47
3	スイス	82.89	82.73
4	オランダ	82.59	82.33
5	韓国	82.55	81.96
6	フランス	80.01	79.64
7	ドイツ	79.94	79.46
8	中国	79.56	78.89
9	イギリス	79.32	78.60
10	スウェーデン	78.88	77.83

（49 カ国のうち上位 10 カ国のみ記載）

- ✓ 各種サブ指標を見ると、中国の知財発展環境指標は 83.07 で 8 位、知財産出能力指標は 81.21 で 5 位、知財市場評価指標は 74.40 で 10 位となり、中国の知財発展のサブ指標はすべて世界トップ 10 にランクイン

（以上）